

科目名	会社法	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)	
			法律学科	□必修 ■選択
			国際観光学科	□必修 ■選択
英文表記	Company Law	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	みちはた ただよし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	道端 忠孝	修得単位	4単位	
授業のテーマ	現在社会において大きな役割を果たし、世界経済にも大きな影響力を有する大(株式)会社や中小株式会社の設立・運営の基本を修得し、さらにその問題点を考えることができるようになる。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1、株式会社の設立・運営・資本調達・合併等の組織再編・解散の概要が理解できるようになる。 2、株主総会や取締役会などの役割や招集手続の基本が理解できるようになる。 3、ビジネス実務法務検定・行政書士・司法書士・公認会計士試験の受験対策となるほか、就職後に企業人として必要な最低限の知識が身に付く。			
授業概要	本講義では、株式会社はどのようにすれば設立できるか、設立されるとどのようなメリットがあるか、設立後は株主総会や取締役会はどのように招集され、どのような権限をもつか、社長の地位・権限はどのようになっているか、取締役の義務・責任や必要な資本調達方法、合併等の組織再編方法から、最後の解散して株式会社が消滅するまでの基本を明らかにします。 また、その時々の特ピックスなどにも触れたり、地元の秋田銀行や北都銀行なども取り上げて、現実の株式会社の実態を織り交ぜながら講義します。			
授業計画				
第1回	ガイダンス、会社法の概要	第17回	募集株式の発行	
第2回	企業法としての会社法	第18回	新株予約権	
第3回	会社の種類	第19回	社債	
第4回	会社の商号	第20回	株式会社の機関	
第5回	商業登記	第21回	株主総会	
第6回	株式会社の特色	第22回	取締役の義務	
第7回	株式会社の設立①(会社設立の意義と概要)	第23回	取締役の責任	
第8回	株式会社の設立②(発起設立・募集設立の手続)	第24回	取締役会・代表取締役	
第9回	発起人・設立関与者の責任等	第25回	株式会社の監査	
第10回	株式の意義・内容	第26回	指名委員会等設置会社	
第11回	株式の内容・種類・株券・株主名簿	第27回	監査等委員会設置会社	
第12回	株式の譲渡とその制限	第28回	株式会社の計算	
第13回	株式の担保	第29回	組織変更・組織再編・持分会社	
第14回	自己株式の取得	第30回	定款変更・解散・清算・継続	
第15回	株式の消却・分割・無償割当・併合・単元株	第31回	総括(まとめと会社法の課題など)	
第16回	中間試験	第32回	定期試験	
授業時間外の学習	1、授業開始前に教科書の該当箇所に必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。(1・5時間程度) 2、授業開始前に復習をし、ノート整理しておいてください(1・5時間程度) 3、日頃から新聞に目を通し、切り抜き又はメモをしておいてください。(0・5時間程度)			
履修条件 受講のルール	会社法の条文は民法典と同様、1000か条もありますので、テキストを購入して予習・復習をし、ノート整理をしてください。また、適宜資料を配布しますが、事前に連絡なく欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。			
テキスト	神余博史『国家試験受験のためのよくわかる会社法』自由国民社			

参考文献・資料	六法。東京商工会議所『ビジネス実務法務検定試験2級公式テキスト』、『ビジネス実務法務検定試験2級公式問題集』東京商工会議所検定センター、松村利裕『公認会計士試験〔短答式〕企業法』中央経済社。その他、必要に応じて講義時に紹介します。
成績評価の方法	<p>【小テスト(15%)、レポート(15%)、定期試験(70%)】以上の項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に何回か小テストを行います。 ・レポート課題は授業内で指示します。
オフィスアワー	<p>毎週火曜日・金曜日 14:30～16:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
成績評価の基準	<p>平成28(2016)年度以降に入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>平成27(2015)年度以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
学生へのメッセージ	<p>わが国の経済、そして世界経済を動かす株式会社の仕組みを理解しましょう！ できるだけ、ビジネス実務法務検定試験2級などの資格試験などにチャレンジして、キャリアアップを図りましょう。</p>